

2013年2月1日

印旛普及だより

第 25 号

〒285-0026 佐倉市鍋木仲田町8-1 TEL: 043-483-1128 FAX: 043-485-9502
ホームページアドレス <http://www.pref.chiba.lg.jp/ap-inba/inba/mokuji/index.html>
発行: 印旛農業事務所 改良普及課・印旛地域農林業振興普及協議会

進化する次代の印旛農業

問われる真価

印旛農業フォーラム開催

十一月三〇日、印旛合同庁舎
大会議室において、印旛農業フ
ォーラムが開催され、農業者を
中心に、関係機関職員等を含め
93名が参加しました。

このフォーラムは、若い農業
者が経営を継続していける次代
の印旛農業はどうあるべきか、
それぞれの立場で現状を知り、
何をしていくべきか、その道筋



岸氏の講演

を共有しよう」と開催したもので
す。農業者組織8団体で実行委
員会を組織し、企画から開催ま
で行いました。

◆講演

「グローバル化時代を生き抜
く農業経営とはー世界を視野に、
消費者とともにー」と題し、日
本農業経営大学校長岸康彦氏に、
今、農業が置かれている状況を
グローバルな視点から説明して
いただくとともに、今後農業者
が何をしていくべきかの問題提
起をしていただきました。

◆フロアディスカッション

講演後は、講師への質問や回
答、そして意見交換が行なわれ、
経営内容や世代を超えた幅広い
情報交換の時間が持たれました。

◆後継者組織の活動PR

二つの後継者組織が、パワー
ポイントでの活動紹介や、試作
のカレーパン（会員作の野菜を

使用）を提供し、組織活動の良
さを紹介しました。



組織活動PRの様子

◆参加者の感想

参加者からは、「農業の現状
について理解でき、大きな視野
で日本農業を見ることができ
た」「若い人達が良く考え意見を
述べていることに明るい将来を
感じた」「精一杯良い物、安心で
きる物を作り、消費者と交流を
図っていききたい」等、前向きな
感想が多く寄せられました。
来年度も、印旛農業の発展を共
に考え話し合う農業フォーラム
の開催を行う予定です。

印旛地域の担い手育成

農業事務所では、次代の印旛地域農業を担うべき青年・女性農業者の育成・確保を推進するとともに、最近増えてきている定年帰農者や農業部門への新規参入者等、多様な担い手の育成を支援しています。

また、就農直後・就農定着後と段階に応じた能力向上、組織育成、経営改善対策を効果的に実践できるように、体系づけた各種研修会を開催しています。

農業経営体育成セミナー研修

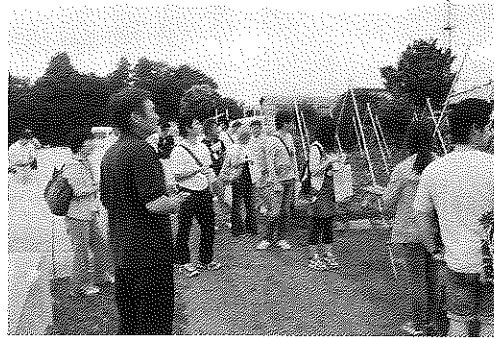
新規就農者の定着、経営者能力の向上等を目的に実施している研修です。

この研修の特徴は、基本・専門・総合研修と3年間の期間で段階を踏んで学びます。

内容は、土壌肥料、病害虫に関することなど、農業経営に必要な基本的な知識を学ぶとともに、先進農家の視察、セミナー生同士の相互訪問などを行って

います。

特に力を入れてるのが、セミナー生個々が自己経営に対する課題を設定し、学習するプロジェクト学習活動で、その成果を発表する機会も設けています。



指導農業士宅の視察研修

女性農業者の育成

印旛地域の女性農業者が自信とやりがいを持って経営参画・社会参画していけるよう、「第四次いんばいきいき行動計画」を策定し、個人として、組織としての活動の充実と実践を目指し、各種講習会や組織活動の支援を行っています。

組織活動では、アグリライフ

いんばや、IWAINETなどの自主的なプロジェクト活動の支援を行っています。

また、平成二十一年度より、若手女性農業者の育成を重点的に行い、2ヶ年のセミナー参加者から新たに「姫農—Menu」が結成されました。会員数も17名と新たな仲間を加えながら、同業者、同世代での情報交換、先輩女性農業者から学ぶ楽しみ、農業技術のレベルアップを目指すなど、個々の能力を発揮できる女性農業者の育成を行っています。



加工の起業家を視察

いきいき帰農者等研修

定年退職された方や中途退職された方など、農家の子弟ではない、おおむね36歳以上の就農希望者を対象に、就農をサポートしています。



施設野菜の経営を視察

研修の内容は、作目別の栽培講習会の開催や流通・販売の研修として直売所の視察研修、その他就農定着に必要な事項を取り入れた研修内容になっています。また、研修受講者間の情報交換会や交流会など、地域で孤立しないような連携活動を取り入れています。

水稻育苗中の細菌性病害対策について

育苗期間中は、適正な温度管理をしないと、「もみ枯細菌病」や「苗立枯細菌病」、糸状菌（カビ）による病害が発生しやすくなります。

そこで、健全な苗づくりに向けた育苗管理を紹介します。

ポイント1 種子消毒

種子消毒には、「ヘルシード Tフロアブル」等の「馬鹿苗病」や「もみ枯細菌病」に登録のある薬剤を使用し、浸漬水温は10〜15℃で実施します。

スターナ混合剤は、「もみ枯細菌病」「褐条病」に対して、薬剤耐性菌が確認されています。

ポイント2 浸種時の管理

浸種時の水温は10〜15℃で管理します。20℃以上になると細菌性病害の発生が助長され、また、10℃未満では発芽率が低下します。

ポイント3 用土の消毒

「フタバロンA粉剤」の土壤混和等、細菌病に効果のあるカスガイシンを含む薬剤で用土を消毒します。「ダコニール」、「タチガレン」等の薬剤はカビには効果がありますが、細菌病には効果がありません。

ポイント4 温度管理

播種後〜緑化期は、ハウス内の温度だけでなく保温シート内部や床土の温度にも注意します。

① 出芽時・育苗器を使う場合は30℃とし、2日間加温します。無加温出芽の場合は、育苗箱付近の温度を昼間20〜30℃、夜間10〜20℃にします。

② 緑化時・昼間は換気、夜間はサイドを閉めるなど、育苗箱付近の温度を昼間20℃〜25℃、夜間10℃〜20℃にします。

③ 硬化時・昼間は25℃以下になるよう換気に努め、夜間特に寒い日以外は被覆は不用です。

スイカ急性萎凋症対策について

定植から、着果期の栽培管理によるスイカ急性萎凋症対策について、3つのポイントに分けて紹介します。

ポイント1 〔育苗〕

苗を老化させず、十分な育苗床の面積を確保しましょう

- ① 育苗は大きめのポリ鉢（できれば10・5 cm径以上）で行います。
- ② ずらしを行うために、1㎡当たり30〜36鉢を目安に温床の面積を確保します。
- ③ 育苗期間は50〜55日、本葉5枚を目安とします。

温度が実際に上がっているか
温度計で確認を行いましょ

ポイント2 〔定植の準備〕

活着時の水分、温度に注意して
深くまで根を張らせましょ

- ① 定植の2週間以上前にマルチとトンネルを設置し、地温を上げます。

② 土壌が乾燥している場合は、30 mm以上の灌水をしてからマルチを展開します。

③ 特に、保水力の低い圃場では、ベッド内にかん水チューブを設置します。

④ 深さ15 cmの地温を15℃以上に確保し、定植します。

ポイント3 〔生育期の管理〕

根を十分に発達させましょ

- ① 整枝作業は交配までに3回以上に分けて行い、一度に除去する茎葉の量を抑えます。
- ② 孫づるの除去は着果節までとします。

③ 着果節位は18〜20節とします。

過度の着果負担を避けるために、低節位の果実はただちに摘果します。

④ 着果後、草勢が弱いときは追肥による草勢回復をはかります。

農林水産祭で天皇杯を受賞

〜印西市 株式会社ハルデイン〜

〔平成二十四年度(第51回)農林水産祭式典〕が十一月二十三日、明治神宮会館にて行われ、印西市の株式会社ハルデインが園芸部門で天皇杯を受賞しました。



式典の様子

農林水産祭は、毎年勤労感謝の日を中心として、国民の農林水産業と食に関する認識を深め、農林水産業者の技術改善及び経営発展意欲の高揚をはかるため、国民的な祭典として開催されています。過去1年間(平成二十

三年八月〜平成二十四年七月)

の農林水産祭参加表彰行事において、農林水産大臣賞を受賞した476点の中から、農産部門、園芸部門、畜産部門、蚕糸・地域特産部門、林産部門、水産部門、むらづくり部門の7部門のそれぞれに天皇杯、内閣総理大臣賞及び日本農林漁業振興会会長賞が選ばれました。

今後、ますますの御活躍を期待します。



篠原茂社長(左)と英子専務(右)

千葉県文化の日功労賞

(男女共同参画功労) 受賞!

〜白井市 武藤栄子氏〜

十一月三日、文化の日の「県功労者表彰」が県議会議場にて行われ、白井市の武藤栄子さんが表彰されました。

この賞は、各方面で顕著な功績を上げ本県の発展に大きな貢献をした県民を称えるもので、地方自治、教育、健康福祉等、16功労に58個人と3団体が表彰されました。

武藤さんは、白井市で梨栽培に取り組む傍ら、平成十四年に白井市初の女性農業委員に就任、平成二十年には公選で農業委員に当選されました。印旛管内での、農業における男女共同参画推進への功績が高く評価されました。



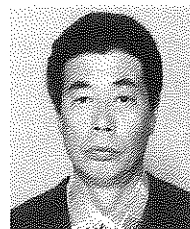
武藤栄子氏

新たに指導農業士・農業士

が認証されました

指導農業士

○池田達男 氏(佐倉市)



水稲経営。大規模に専作経営をしています。

○増田 榮 氏(栄町)



水稲経営。新技術の導入に積極的です。

農業士

○根本裕富 氏(成田市)



水稲経営。モチの加工も行っています。

○恩田 正 氏(印西市)



果樹経営。ナシ・ブドウの直売中心です。